



柏葉



学校だより 第27号
 令和5年11月17日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 渡邊泰昌
 「自分の未来を切り拓け！」

福島民報新聞掲載 若い世代 (No.3)

たくさんの生徒の皆さんが福島民報新聞に投稿することができました。今回は、野地琉友さんの文章を載せます。徐々にプレーも難しくなるけれど、それに負けずに、全力で楽しくプレーしたいという気持ちが書かれていて素晴らしいです。



これからは挫折しそうな時も、野球が好きという気持ちを忘れずに、どんなに苦しくても楽しく全力でプレーしたいです。

これからは挫折しそうな時も、野球が好きという気持ちを忘れずに、どんなに苦しくても楽しく全力でプレーしたいです。

中学生になって、投球で変化球も使えるようになりまして、やることは同じです。野球は小学校でやってきたことよりレベルアップしています。続けて練習し、いい成績を残すことを目標にしていきたいです。中学校でも野球ができてとても楽しいです。

中学生になって、投球で変化球も使えるようになりまして、やることは同じです。野球は小学校でやってきたことよりレベルアップしています。続けて練習し、いい成績を残すことを目標にしていきたいです。中学校でも野球ができてとても楽しいです。

好きな野球、ずっと続けたい

野地 琉友

生徒会の活躍が学校を盛り上げます



赤い羽根共同募金活動（朝）



募金を呼びかけているところ（昼放送）



交通事故無事故一万日達成報告

生徒会の活動は、自分たちの学校での生活をより過ごしやすい、自分たちの目標（学習や部活動など）を達成できるようにする活動です。この生徒会活動が活発なほど、学生生活が充実し、学校は盛り上がります。今年度も、生き生き協議会で、いじめ防止スローガン「全員が思いやりの気持ちを持ち、笑顔が絶えない東北中」を決め、いじめ防止を呼びかけるなど、自治活動が活発です。さらに最近では、新生徒会本部の皆さんが、赤い羽根共同募金を行ったり、交通事故無事故1万日達成を全校生徒に報告し、交通事故防止を呼びかけたりするなど、生徒会の活動が充実しています。これからも生徒の活動を大切にし、「楽しい学校」、「来たくなる学校」を目指し、子ども達を支えていきたいと考えています。

「TOHOKU」一層白く輝く！！



作業していただいた皆様



急な斜面での作業

11月11日（土）に東北中学校の校庭山側にある「TOHOKU」をPTA役員の皆様を中心となって、塗り直すことができました。このシンボルのもとで、子ども達は尚一層、勉強や部活動に励むことと思います。本当にありがとうございました。

